

# ANEBRIETO N-ro 188

町田エスペラント会  
Esperanto-klubo de Maçida



## *Feliĉan Novjaron 2024 !*

町田エスペラント会 総会のお知らせ

日 時 : 2月25日(日) 10時00分~11時30分

場 所 : 町田市生涯学習センター8階 学習室5

議 題 : 活動報告と決算報告、新年度活動計画と予算  
その他 これからの町田エスペラント会について

＜新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行したことに伴い、生涯学習センター館内でのマスク着用は任意となりますが、総会に参加される皆様におきましては、引き続き基本的な感染対策を実施いただきますようお願いいたします。＞



2024年1月

## 「エスペラント博物館よこはま」見学会の報告

9月9日(土)12時に京浜急行線井土ヶ谷駅で待ち合わせ、NPO法人エスペラントよこはまが設立したエスペラント博物館を訪問した。各自持参した昼食をとりながら柴山代表理事から概要を伺った後、Doi博物館運営事務局長の説明を聞き土居智恵子さんと共に館内を案内してもらった。15時から7人の横浜エスペラント会会員の方々を交えてお茶とお菓子をいただきながら懇談した。

★ [エスペラント博物館よこはま](#) ★ - [esperanto-muzeo-jokohama](#) ページ!

当会参加者 木村会長、上農、金子、桐山、クーヴェ、鳥居、永木、山本 計8人

(報告 永木)

### Vizito al la (ad)mirinda Esperanto-muzeo

Finfine venis la tago viziti la Esperanto-muzeon en Jokohamo.

Ni maĉida-anoj kolektiĝis ĉe stacidomo Idogaja kaj kune piediris al la muzeo. La muzeo troviĝas en iom kaŝita loko, sed s-ro Doi jam atendis nin ekstere, tiel ke ni povis esti certaj, ke ni atingis la ĝustan lokon.

Tuj ni havis okazon trarigardi la ekspozicion. Laŭ tiu ĉi sperto, la avantaĝo de la jokohama muzeo estas, ke male ol en kutimaj muzeoj, la eksponaĵoj ne estas en vitrinoj. Do, oni havas rektan kontakton kun la objektoj kaj povas mem enrigardi en la librojn kaj gazetojn. Aparte menciindas la kolekto de materialoj pri individuaj japanaj esperantistoj. Tio estas specialaĵo ne trovebla en aliaj bibliotekoj. Espereble tiu kolekto pligrandiĝos estonte. Post la gvido tra la muzeo ni havis agrablan tempon interbabili kun jokohamanoj.

Laŭ mia impresoj, la muzeo povas plenumi almenaŭ jenajn tri funkciojn:

1. Montri al la „ekstera mondo” la riĉecon de la kulturo de Esperanto.
2. Kiel konsultbiblioteko helpi esploristojn kaj aliajn interesitojn.
3. Okazigi prelegojn aŭ seminariojn pri temoj rilataj al la eksponaĵoj aŭ specialaj ekspozicioj.

Ĉar la valoro de la trezoroj troveblaj en la muzeo ne estas komprenebla por tiuj ne familiaraj pri la esperanta kulturo kaj historio, estus bele oferti gvidadon por diversaj grupaj vizitantoj. Nia vizito montris, ke la muzeo povas esti bona ekskurscelo por Esperanto-rondoj.

Mi tutkore dankas al la prizorgantoj de la muzeo pro la varma akcepto kaj esperas daŭran evoluon de la muzeo! (KIMURA Goro Christoph)

★ 念願だったエスペラント博物館よこはまを町田エスペラント会の有志と一緒に訪ねました。私には目的がありました。今、絶版でネットでは見ることができない本'John Francis'の'La granda kaldrono'の紙版を見つけることでした。土居智恵子さんが持つ

ていることがわかり、後日、その本を借りに再訪しました。宮本正男さんの本(Naskitaj sur la ruino OKINAVO)も借りることができました。大きな収穫でした。(上農百合子)

★ 以前から見学に行きたいと思っていたところだったので、参加できてよかったです。資料の収集、選別や整理は大変な作業だと思いますので、限られた人だけではなく、多くの人を巻き込んで維持してほしいと思いました。また、エスペラントの本がなぜか捨てられない私も含めて、個人が所有しているエスペラントの本や資料の行く末を考えている同世代の仲間も周りにいます。「博物館」は価値のあるものを収集するところだと思いますが、それ以外のものを単に廃棄するのではなく、公開して有効利用できるような広場があればなあと思いました。(山本美郷)

★ 以前からハマロンドの人から誘われていましたが、なかなか腰が上がりなかつたところ、町田 E 会の遠足という形で絶好の機会を得ました。横浜の方々も大勢で歓迎して下さい、楽しいひと時を過ごしました。たくさんの資料がきちんと見やすく整理されていて、携わっている横浜の方々が、エスペラントを老化対策の一つと考えている私には眩しく映りました。(鳥居房子)



## 第31回ザメンホフ祭の報告

日 時： 2023年12月9日(土) 14時～16時45分  
場 所： 町田市生涯学習センター 8階 学習室7  
講 師： 臼井 裕之 氏  
参加者： 鳥居、永木、早川、山本

永木の司会で、La Espero 斉唱、木村会長挨拶(代読)に続き、参加者全員が簡単に自己紹介を行った後、講師の臼井さんに JEI 機関誌の編集を担当する中で様々な分野の方へのインタビューで感じたこと、中国やその他の国々での経験から得たことなどについて話してもらった。

「日本のエスペラント界から離れて過ごした中国での6年間と帰国後暮らした京都での体験を経て、みんなと見えているものが違うと感じている。2022年に関東へ移り住むと、エスペラントを研究する人や若い人など自分の前に必要な人が現れてくる。エスペラントの活性化のため、運命に使われている気がする。」とのこと。町田エス会の今後についても言及し、「あらゆる可能性を探って人を集めていく必要がある。市の広報課とタイアップするとか、コミュニティFMなど、今ある手段を使う。公開講演会を開いて入門講座につなげる。町田エス会もこのままでは自然消滅してしまうのではないか。今の時代とエスペラントは適合性がある。」といった励ましの言葉があった。

続いて、鳥居さんの指導で、「Himno al Negmonto(雪山賛歌)」、「Plejadoj(昴)」、「Al la Ĝojo(喜びの歌)」の3曲を皆で歌った。

休憩と写真撮影をはさんで、6月のAMUZA KUNVENOで好評だった臼井さんによるエスペラント講座を行った。内容は前回同様、Ki-vortoj、過去と現在の顔写真を使った「Kiu li(s) estas?」。今回は主に音楽、芸能で活躍する人物シリーズだった。また、ザメンホフ祭に因み、ザメンホフの詩2編が紹介された。

写真撮影に手間取ったため、予定を変更して講座を終了時間まで行い閉会した。

終了後、臼井さんとともに、カンボジア・エスニック料理店「アンコール・トム」で辛めの料理を味わいながら歓談した。

会長の挨拶でも触れられていたように、参加を予定していた人が、立て続けにやむを得ない事情で参加できなくなり、過去最少だった前年をさらに下回る人数での開催となったが、臼井さんのお陰で充実したザメンホフ祭になった。(報告:永木)

..... 会長のメッセージ .....

Kara s-ro Usui, karaj klubanoj,

Estas granda ĝojo, ke ĉi-jare ni denove povas okazigi Zamenhofan feston.

Kaj aparte mi estas danka, ke s-ro Usui bonvolis veni. Ravite de lia interesa parolo kaj lerta instruado dum la lasta amuza kunveno leviĝis voĉoj ree inviti lin. Kaj feliĉe, li akceptis la peton. Ankaŭ mi intencis ĉeesti kaj pasigi gajan tempon kune, sed bedaŭrinde pro familia kialo mi devis rezigni. Kelkaj aliaj klubanoj ankaŭ estas malhelpitaj partopreni pro similaj kialoj. Mi tamen esperas, ke la kunveno iĝos des pli intensiva kaj intima.

Mi esperas al vi agrablan jarfinan feston!

Kore salutas Via KIMURA Goro Christoph



..... 参加者の感想 .....

★ 私は道を迷って約20分遅刻しました。上農さんはお兄さんのお通夜で出席できず、最初に会場に少し現れて Reviuo Orienta の 12 月号を置いていったそうで、私が使わせてもらいました。日本エスペラント協会は忙しいのはわかるが、お客さんが来ても顔も上げずに対応しているので心に残らない。その点、日本エスペラント協会の近くにある早稲田町の SOJO カフェ・喫茶(Esperanto-Vegana Kafejo <https://sojo.favy.jp>) は愛想が良いので若い人が集まる。日本エスペラント協会もこのようにすべきである。町田エスペラント会は高齢化が進んでいるので今後自然消滅する可能性があると言井さんが言っていました。町田エスペラント会の木村護郎会長はアイデアが豊富なので相談してみると良いと思いました。SOJO のエスペラントのカレンダーを一部千円



で臼井さんから参加者全員が分けてもらいました。臼井さんが Kio, Kia, Kiu, Kie, Kiam, Kiel, Kies, Kiom, Kial と書いた札を白板に並べ、これらを使って文章を作りなさいという問題をだし、これは少し難しかった。臼井さんの説によると「ザメンホフは世界共通語だけで平和がもたらされるとは考えておらず、世界共通の宗教「ホマラニズム」と共同の働きによって平和がもたらされると考えていたようだ。」とのことでした。上農さんの予約してくれたカンボジア料理店アンコール・トムで晚餐会を行いました。味は美味しかったが、少し辛く鼻水や涙が出ました。(早川吉則)

★ これまでになく、少ない参加者でしたが、冬の歌と谷村新司のすばる(Plejadoj)を皆で歌ったのは、とても印象深かったです。また、講師から、これからの町田エスペラント会の活動についても、ヒントになる話が伺えてよかったです。私も風邪気味で、楽しみにしていた忘年会に参加できなかったのは、悔やまれます。(山本美郷)

★ 今年のザメンホフ祭は止むを得ない事情が重なり4人だけの参加になってしまい、臼井さんには申し訳ないことでした。お話の一つはエスペラントに関心を持っている若い人達に関連したことで、Revuo の 12 月号に載っていましたが、私はまだ読んでいなかったのが新鮮でした。合唱は冬ということで「雪山賛歌」、リクエストがあった Revuo 12 月号に載っていた「昂」、12 月に縁のあるベートーベンの第九「喜びの歌」を歌いました。会食は上農さんが苦勞して探して下さったカンボジア料理店で、さらに一人減って 4 人になってしまいましたが、却ってまとまって、話題も多岐にわたり、おいしく楽しいひと時を過ごしました。(鳥居房子)



## あとがき

☆ エスペラント博物館よこはま訪問と ZAMENHOF 祭の報告に、参加者の感想を掲載して無事発行することが出来ました。原稿を送ってくださった皆様、ありがとうございました。3 年に及ぶコロナ禍の行動制限が緩和されたことを受けて、10 月から生涯学習センターでも7階に団体利用できるコーナーが設置され、早速、11月に1回だけ、センターで学習会を行いました。リモートでは参加できない人のためにもコロナ禍前の状態に少しずつ戻していけるとよいと思います。総会では町田エス会の今後についても話し合います。会の活性化のために、みんなで知恵を出し合いましょう。(M)